21世紀の国際問題3000冊

紛争・民族・人権

日外アソシエーツ

凡　例

1．本書の内容

本書は、21 世紀の国際問題のうち、主に紛争問題・人権問題・民族問題について書かれた図書を集め、テーマ別にまとめた図書目録である。

2．収録の対象

2001 年以降に日本国内で刊行された、国際問題のうち、主に紛争問題・人権問題・民族問題に関する図書 3,567 点を収録した。必要に応じて、複数の見出しの下に収録した図書もある。

3．見出し

(1) 全体を「紛争･戦争」「テロリズム」「各国の問題」「日本と各国」「民族・人権」「国際連合・国際機関」に大別し、大見出しを立て、その下に各々主題を設定し中見出しとした。

(2) 特定の見出しの下に多数の文献が集中するのを避けるため、上記の見出しの下にさらに小見出しを設けた。詳細については「見出し一覧」を参照されたい。

(3) 必要に応じ参照見出しを立てた。

4．図書の排列

(1) 各見出しのもとに、出版年月の逆順に排列した。出版年月が同じ場合は書名の五十音順に排列した。

(2) 濁音・半濁音は静音扱いとし、ヂ→シ、ヅ→スとみなした。また拗促音は直音扱いとし、長音（音引き）は無視した。また日本語助詞の「は」「へ」「を」は各々「ワ」「エ」「オ」として排列した。

(3)「日本」の読みは、原則として「ニホン」に統一した。

5．図書の記述

記述の内容および記載の順序は以下の通りである。

書名／副書名／巻次／各巻書名／版表示／著者表示／出版地（東京以外を表示）／出版者／出版年月／ページ数または冊数／大きさ／叢書名／叢書番号／注記／定価（刊行時）／ISBN（Ⓘで表示）／NDC（Ⓝで表示）／内容または要旨（＊で出力）

6．書名索引

各図書を書名の読みの五十音順に排列して著者名を補記し、本文での掲載ページを示した。

7．事項名索引

本文の各見出しの下に分類された図書に関する用語・テーマなどを五十音順に排列し、その見出しと本文での掲載ページを示した。

8．書誌事項の出所

図書の書誌事項等は、概ねデータベース「BookPlus」及び JAPAN/MARC に拠ったが、掲載にあたっては編集部で記述形式を改めたものがある。

見出し一覧

紛争・戦争 …… 1

軍縮 …… 11
戦争論 …… 12
新冷戦 …… 14
各国の紛争・内戦 …… 19
アジア …… 30
中国 …… 31
新疆ウイグル自治区問題 …… 32
チベット問題 …… 34
東南アジア …… 39
ミャンマー問題 …… 40
ロヒンギャ族 …… 43
インド …… 44
インド・パキスタン関係 …… 44
オセアニア …… 44
北米・中南米 …… 45
アメリカ …… 45
ヨーロッパ …… 46
北アイルランド問題 …… 46
ロシア …… 47
ロシア・ウクライナ戦争 …… 48
ウクライナ侵攻(2022) …… 49
コーカサス紛争 …… 51
チェチェン紛争 …… 51
中東・イスラム圏 …… 53
イラク戦争 …… 57
自衛隊派遣 …… 70
サダム・フセイン …… 72
ファルージャの戦闘 …… 73
アフガニスタン紛争 …… 73
紛争後 …… 78
パレスチナ問題(イスラエル・アラブ紛争) …… 81
ガザ侵攻 …… 89
シリア内戦 …… 90
アフリカ …… 92
スーダン内戦・紛争 …… 96
リビア内戦 …… 97
エジプト革命 …… 97
アラブの春(中東・アフリカ) …… 98
女性が見た紛争・内戦 …… 101
ジャーナリストが見た紛争・内戦 …… 105
兵器 …… 110
地雷 …… 110
核兵器・核問題 …… 111
劣化ウラン弾 …… 122
生物兵器・化学兵器 …… 123
領土・国境問題
→領土問題(日本と各国),尖閣諸島問題(中国),竹島問題(韓国),北方領土問題(ロシア) をも見よ
領海問題 …… 128
海賊問題 …… 128
戦争犯罪 …… 130
ジェノサイド …… 133
情報戦・情報機関・スパイ …… 135

テロリズム …… 142

アメリカ同時多発テロ …… 160
体験談・記録 …… 169
シャルリ・エブド事件 …… 171
人質・誘拐事件 …… 172
過激派組織 …… 173
アルカイダ …… 177
タリバン …… 180
ISIL(イスラム国) …… 181

各国の問題 …… 188

アジア …… 193
中国 …… 198
香港 …… 205
台湾 …… 206
内モンゴル自治区 …… 208
朝鮮半島 …… 208
韓国 …… 211
北朝鮮 …… 212
脱北 …… 216
東南アジア …… 217
オセアニア …… 220
北米 …… 221
アメリカ …… 221
中南米 …… 233
ヨーロッパ …… 234
ロシア …… 240
ウラジーミル・プーチン …… 242
中東・イスラム圏 …… 245
イラン …… 255
イラク …… 256
シリア …… 256
トルコ …… 257
クルド問題 …… 257
アフリカ …… 258

日本と各国 …… 261

領土問題 …… 264
反日問題 …… 270
靖国神社参拝問題 …… 271
慰安婦問題 …… 273
→慰安婦問題(朝鮮半島) をも見よ
アジア …… 283
中国 …… 285
反日問題 …… 294
尖閣諸島問題 …… 297
→領土問題(日本と各国) をも見よ
台湾 …… 306
朝鮮半島 …… 307
在日問題 …… 308
反日問題 …… 310
慰安婦問題 …… 313
韓国 …… 321
竹島問題 …… 328
→領土問題(日本と各国) をも見よ
北朝鮮 …… 331
日本人拉致問題 …… 334
ミサイル問題 …… 338
アメリカ …… 338
沖縄・基地問題 …… 341
ロシア …… 344
北方領土問題 …… 345
→領土問題(日本と各国) をも見よ
中東 …… 349
アフリカ …… 351

民族・人権 …… 352

人種差別 …… 357
ブラック・ライブズ・マター …… 359
強制収容所 …… 359
民族問題
→各国の問題 をも見よ
児童問題 …… 366
子ども兵・戦闘員 …… 369
児童買春・売春 …… 370
児童労働 …… 370
人身売買・取引・奴隷制 …… 372
移民・難民
→各国の問題 をも見よ
移民 …… 379
難民 …… 381
外国人実習生 …… 389
外国人労働者 …… 390
亡命 …… 391
キャンプ …… 393
出入国管理 …… 393
捕鯨問題 …… 394

国際連合・国際機関 ……397

PKO……402
NATO ……405
EU（欧州連合）……406
NGO ……407

紛争・戦争

◇戦争と平和ブックガイド—21世紀の国際政治を考える　小田桐確編著　京都　ナカニシヤ出版　2021.9　194p　21cm　2200円
Ⓘ978-4-7795-1593-4
内容 1 武力紛争の原因（力の分布—野口和彦『パワー・シフトと戦争 - 東アジアの安全保障』 経済的相互依存—長谷川将規『経済安全保障 - 経済は安全保障にどのように利用されているのか』 ほか） 2 国家の安全保障（地政学—カプラン,R.『地政学の逆襲 - 「影のCIA」が予測する覇権の世界地図』 海洋安全保障—後藤桂太郎『海洋戦略論 - 大国は海でどのように戦うのか』 ほか） 3 非国家主体と武力紛争（民族紛争—カルドー,M.『新戦争論 - グローバル時代の組織的暴力』 主権国家体制と介入—小松志朗『人道的介入 - 秩序と正義、武力と外交』 ほか） 4 国際平和への方途（兵器の規制—足立研幾『国際政治と規範 - 国際社会の発展と兵器使用をめぐる規範の変容』 戦争の禁止—本多美樹『国連による経済制裁と人道上の諸問題 - 「スマート・サンクション」の模索』 ほか）

◇ハイブリッド戦争の時代—狙われる民主主義　志田淳二郎著　並木書房　2021.5　215p　19cm〈書誌注記：文献あり〉1600円
Ⓘ978-4-89063-409-5　Ⓝ319
内容 序章 ハイブリッド戦争時代の到来　第1章 ハイブリッド戦争の理論　第2章 ロシアのクリミア併合作戦（二〇一四年）　第3章 中東欧のハイブリッド戦争（二〇一六～二〇年）　第4章 米中衝突とハイブリッド戦争（二〇一〇～二〇年）　終章 ハイブリッド戦争という難題

◇なぜ、世界から戦争がなくならないのか？　池上彰,「池上彰緊急スペシャル！」制作チーム著　大活字版　SBクリエイティブ　2020.3　189p　26cm　1500円　Ⓘ978-4-8156-0213-0　Ⓝ319.8

◇内戦と和平—現代戦争をどう終わらせるか　東大作著　中央公論新社　2020.1　258p　18cm（中公新書　2576）〈書誌注記：文献あり〉880円　Ⓘ978-4-12-102576-0　Ⓝ316.5
内容 第1章 凄惨な内戦の実態　第2章 内戦とは何か—データと理論　第3章 交渉のテーブルにつくべきは誰か　第4章 周辺国の責任、グローバル国家の役割　第5章 国連に紛争解決の力はあるか　第6章 日本だからできること

◇世界から戦争がなくならない本当の理由　池上彰［著］祥伝社　2019.8　255p　18cm（祥伝社新書　578）〈一般注記：2015年刊の加筆修正〉840円　Ⓘ978-4-396-11578-4　Ⓝ319.8
内容 序章 なぜ世界から戦争はなくならないのか　第1章 日本は本当に「平和」なのか？—「平和国家」の光と影　第2章 アメリカは同じ過ちを繰り返す—「戦勝国」の失敗の歴史　第3章 東西冷戦—実は今まで続いていた　第4章 戦争のプロパガンダ—報道は真実を伝えているのか　第5章 ヨーロッパに潜む「新冷戦」　第6章 終わることのない「中東」宗教対立　第7章 日本人が知らないアフリカ、アジアでの「代理戦争」　第8章 バックミラーに見える歴史から学ぶこと　あとがき—戦争の教訓から学ぶために

◇国家を食べる　松本仁一著　新潮社　2019.7　236p　18cm（新潮新書　823）780円
Ⓘ978-4-10-610823-5　Ⓝ319

◇越境の国際政治—国境を越える人々と国家間関係　田所昌幸著　有斐閣　2018.11　321p　22cm〈書誌注記：文献あり　索引あり〉5500円　Ⓘ978-4-641-14924-3　Ⓝ319
内容 序章 移民と国際政治—問題意識と基礎的事実　第1章 人口移動政策と対外関係　第2章 政策の限界—非正規的な人口移動　第3章 国家とそのメンバーシップ　第4章 メンバーの包摂と再生産　第5章 在外の同胞と国家　終章 日本にとっての国際人口移動

◇一気にわかる！　池上彰の世界情勢　2018　国際紛争、一触即発編　池上彰著　毎日新聞出版　2018.1　205p　18cm　1000円
Ⓘ978-4-620-32486-9　Ⓝ319
内容 1章 トランプ大統領誕生で激変した世界　2章 緊迫する北朝鮮情勢　3章 アメリカ　4章 中東・中央アジア・アフリカ　5章 欧州 止まらない自国ファーストの流れ　6章 中国・アジア・日本

◇国際紛争—理論と歴史　ジョセフ・S.ナイ,ジュニア,デイヴィッド・A・ウェルチ著，田中明彦,村田晃嗣訳　有斐閣　2017.4　488p　22cm〈書誌注記：文献あり　索引あり〉3000円　Ⓘ978-4-641-14917-5　Ⓝ319
内容 第1章 世界政治における紛争と協調には一貫

問うこと（9・11以後の米国の軍事戦略と沖縄代理署名訴訟—平和を訴えた裁判 ほか）第3部 沖縄戦体験の真実が問うこと（沖縄戦体験のジレンマ—沖縄戦体験記録のダブルスタンダード 旧軍飛行場用地問題を通して考える国民保護法と補償 ほか）第4部 沖縄がめざす平和社会（自治体の平和施策　地域の戦争体験・戦争遺跡掘り起し運動 ほか）第5部 「オキナワを平和学する」世代間座談会

◇沖国大がアメリカに占領された日—8・13米軍ヘリ墜落事件から見えてきた沖縄/日本の縮図　黒澤亜里子編　青土社　2005.5　267, 15p　19cm　1600円　Ⓘ4-7917-6189-8　Ⓝ395.39

内容 1 8・13米軍ヘリ墜落事件—事件の意味と背景（大学が米軍に「占領」された七日間—検証ドキュメント　事件とその波紋　大学は何を蹂躙されたか　放射能汚染を検証する　基地の中の日常　基地依存経済の縮図　岐路に立つ沖縄/日本）2「黒こげの壁」への想像力を問う—「記憶」の継承と発信（「記憶の場」を考える可能性としての大学　二つの建物が語りたかった物語—ペルー館と琉球政府立法院　たじろがず見よ）3 付録

◇沖縄基地とイラク戦争—米軍ヘリ墜落事故の深層　伊波洋一, 永井浩［著］岩波書店　2005.2　63p　21cm（岩波ブックレット no.646）〈書誌注記：文献あり〉480円　Ⓘ4-00-009346-0　Ⓝ395.39

内容 米軍基地は「諸悪の根源」　ヘリ墜落現場からの証言　ファルージャ大虐殺に参加した沖縄海兵隊

ロシア

◇プーチン大恐慌—“ウクライナ後”の世界で日本が生き残る道　宮崎正弘, 渡邉哲也著　ビジネス社　2022.5　223p　19cm　1400円　Ⓘ978-4-8284-2397-5

内容 はじめに “悪人”がもたらした「プーチン大恐慌」　第1章 ウクライナ戦争でみえた世界と日本の大問題　第2章 新冷戦か第三次世界大戦か　第3章 欺瞞だらけの「地球温暖化」　第4章 国家の逆鱗にふれた巨大企業の末路　第5章 ついに人民公社化する中国経済　第6章 “ウクライナ後”の世界で日本が生き残る道　おわりに「アフター・ウクライナ」、次のGAFAMを探せ

◇安倍vs.プーチン—日ロ交渉はなぜ行き詰まったのか？　駒木明義著　筑摩書房　2020.8　388,10p　19cm（筑摩選書）1800円　Ⓘ978-4-480-01713-0

内容 第1章 四島から二島へ　第2章 頓挫　第3章 新しいアプローチの挫折　第4章 葬られた東京宣言　第5章 神話の始まり　終章 平和条約交渉の今後を考える

◇地政学で読み解く日本と中国・韓国・ロシアの勢力史　内藤博文著　河出書房新社　2020.1　223p　15cm（KAWADE夢文庫）720円　Ⓘ978-4-309-48532-4

内容 第1部 地域ごとの特性から読み解く国と民族の盛衰の法則（覇権を握ってきた三つの勢力とは（東アジアの実相）地政学から見ると、いくつに分けられるか？（中国大陸の区分）なぜ、中国大陸王朝草創の地は、すたれていったのか？（中原王朝）亡命政権が豊穣な地域を育むことができた理由（華南（1））高い経済力を持ちながら、なぜ華北の政権につねに屈するのか？（華南（2））ほか）第2部 覇権争いから読み解く日本と大陸国家の興亡史（1～9世紀—強大な中国大陸王朝が日本に侵出できなかった理由　10～18世紀—元寇と秀吉の朝鮮半島侵攻は日本と大陸をどう変えたのか？　19世紀～第二次世界大戦まで—日清・日露戦争に勝った日本はなぜ日中戦争でつまずいたのか？　戦後～現在まで—中国が海洋戦略を打ち出すなか朝鮮半島は再び発火するか？）

◇国家の攻防/興亡—領土、紛争、戦争のインテリジェンス　佐藤優［著］KADOKAWA　2015.4　250p　18cm（角川新書　K-17）800円　Ⓘ978-4-04-102544-4　Ⓝ319.1038

内容 第1部 静かに燃える北方領土（東京宣言至上主義から脱却し、北方領土交渉を活性化せよ　一九九〇年一月の対ソ連「安倍八項目提案」ほか）第2部 稼動するプーチン帝政（プーチン？メドベージェフ？ ロシア大統領選挙をどう読むか　ロシア側と互角の交渉をした外相訪露の成果 ほか）第3部 領土とインテリジェンス（ロスカボス日露首脳会談と北方領土交渉の今後の展望　ロスカボス日露首脳会談を巡る外務官僚の嘘と官邸の不快感 ほか）第4部 新帝国主義の戦争（クリミア問題で帝国主義者の牙を剝き出しにしたプーチン大統領　ウクライナ情勢への対応から読む日露関係の今後の展望 ほか）

◇ヴラジーミル・プーチン—現実主義者の対中・対日戦略　石郷岡建著　東洋書店　2013.4　317p　19cm　1900円　Ⓘ978-4-86459-131-7

内容 第1章 プーチンの素顔　第2章 ソ連崩壊とロシア社会の変遷　第3章 石油と天然ガスをめぐる戦略ゲーム　第4章 衰退の危機にあるシベリア・極東ロシア　第5章 ユーラシアのグレート・ゲーム　第6章 膨張する中国、備えるロシア　第7章 アメリカの一極世界は来なかった　第8章 プーチンの朝鮮半島戦略　第9章 東へ動くロシア　第10章 北方領土問題解決の方程式

◇ロシアへの反論—日本人、ロシア人が知りたい！ 知るべき！ Q&A 100 真の日ロ友好のために　安全保障問題研究会執筆・編集　自由国民社　2007.12　237p　19cm〈企画・構成：ユーラシア21研究所　年表あり〉1600円　Ⓘ978-4-426-10360-6　Ⓝ319.1038

内容 北方領土とその現状　北方四島の歴史　ソ連軍による占拠　北方領土返還要求運動とは　関係改善のための努力　エリツィン時代の日ロ関係　関係改善の具体策　関係改善の周辺環境　日ロ経済協力の現状と将来　返還後の北方領土　プーチン時代の日ロ関係

◇これでは愛国心が持てない　上坂冬子著　文藝春秋　2007.1　238p　18cm（文春新書）740円　Ⓘ978-4-16-660550-7　Ⓝ319.1038

《北方領土問題》

→領土問題（日本と各国）を も見よ

◇消えた「四島返還」—安倍政権日ロ交渉2800日を追う　北海道新聞社編　札幌　北海道新聞社　2021.9　311 p　21 cm〈書誌注記：年表あり〉1800円　Ⓘ978-4-86721-038-3　Ⓝ319.1038

◇北方領土交渉史　鈴木美勝著　筑摩書房　2021.9　318p　18cm（ちくま新書　1601）〈書誌注記：文献あり　年表あり〉940円　Ⓘ978-4-480-07418-8　Ⓝ319.1038

内容 プロローグ プーチンとの“虚ろな約束”　第1章 歴史の「忘却」—宿命の対米依存　第2章 政治家の野望と北方領土　第3章 もう一つの「バックチャンネル外交」　第4章 外務省主導の原点・変化・分裂　第5章 安倍対露外交—敗北の構造　第6章 北方領土はどれだけ遠のいたか　エピローグ なぜ北方領土問題は解決しないのか

◇安倍vs.プーチン—日ロ交渉はなぜ行き詰まったのか？　駒木明義著　筑摩書房　2020.8　388,10p　19cm（筑摩選書　0194）〈書誌注記：文献あり　年表あり〉1800円　Ⓘ978-4-480-01713-0　Ⓝ319.1038

◇北方領土はなぜ還ってこないのか—安倍・プーチン日露外交の誤算　名越健郎著　海竜社　2019.10　239p　19cm〈書誌注記：年表あり〉1600円　Ⓘ978-4-7593-1680-3　Ⓝ319.1038

◇対ロ交渉学—歴史・比較・展望　木村汎著　藤原書店　2019.7　667p　22cm〈書誌注記：年表あり　索引あり〉4800円　Ⓘ978-4-86578-228-8　Ⓝ319.1038

内容 第1部 交渉の一般理論—米欧諸国での発展（交渉とは何か—交渉の種類　交渉は「芸術」か、「科学」か　交渉の決定要因は何か　交渉が必ずたどる三段階　文化は、交渉に影響する異文化間交渉を成功させる方法）第2部 ロシア式交渉—なぜ、特異なのか（変化と連続—帝政、ソビエト、プーチン期　ロシア人の交渉観—戦争と交渉は同一カテゴリー？　プーチンの交渉観—弱い者は打ち負かされる　株式会社“ロシア”のビジネス交渉　対露経済交渉の必勝法）第3部 日本式交渉—なぜ、ユニークなのか（交渉嫌い、交渉回避　独自の交渉法　対ロ交渉に成功するノウハウ　北方四島返還のチャンスはあった　プーチンvs阿倍—どちらが最終的勝者？）

◇イチから分かる北方領土　北海道新聞社著　札幌　北海道新聞社　2019.6　126p　21cm　800円　Ⓘ978-4-89453-951-8　Ⓝ319.1038

内容 1 北方領土問題の歴史（1855～1945年 「固有の領土」か「大戦の結果」か　1950年代～80年代 「四島」「2島」揺れた日本　1990年代 日本生かせなかった好機　2000年代 「冬の時代」本格交渉遠のく　第2次安倍政権以降 「2島」転換も、埋まらぬ溝）2 北方領土のいま（領土交渉気をもむ島民—北方領土・色丹島ルポ　全道世論調査2019年2月　ロシア政府系機関島民調査2019年2月）3 取材の現場から（“綱渡り”の領土交渉　変わりゆくロシア　元島民落胆と焦り　ロシア島民 思い複雑）4 資料

◇日ソ国交回復秘録—北方領土交渉の真実　松本俊一著　増補　朝日新聞出版　2019.3　452p　20cm　2400円　Ⓘ978-4-02-251601-5　Ⓝ319.1038

◇日露外交—北方領土とインテリジェンス　佐藤優［著］KADOKAWA　2017.5　272p　18cm（角川新書　K-137）800円　Ⓘ978-4-04-082144-3　Ⓝ319.1038

内容 第1部 極東新時代（地政学的状況の変化　ベレゾフスキーは日本に好意的だった ほか）第2部 毒蛇と毒サソリ（「事態を力で封じ込めろ」ロシアからウクライナへのメッセージ　応援できない毒蛇と毒サソリの戦い ほか）第3部 外交という戦争（対露制裁と日露関係　ロシアに送った好意的メッセージ ほか）第4部 北方領土（得点を狙う首相に不安　メドベージェフの北方領土視察表明は日本大使館の怠慢だ ほか）特別掲載 ソ連の「ほんとうのホント」（なぜ、バルトは泥沼に陥ったのか　先祖返りする諸民族）

◇ロシアとはどういう国か？—日露の歴史北方領土問題から読み解く　三栄書房　2017.4　120p　29cm（サンエイムック）〈一般注記：『時空旅人』別冊〉796円　Ⓘ978-4-7796-3196-2　Ⓝ319.1038

◇対ロ平和的積極外交　小町恭士著　中央公論新社　2017.3　197p　20cm　1800円　Ⓘ978-4-12-004954-5　Ⓝ319.1038

内容 第1章 はじめに—冷戦からソ連崩壊へ　第2章 ソ連邦崩壊直後の領土交渉　第3章 五六年

民族・人権

◇憲法と国際人権の諸相—子ども・家族・外国人の日米比較　新井信之著　成文堂　2022.3　495,13p　21cm（香川大学法学会叢書　11）　9000円　Ⓘ978-4-7923-0699-1

内容 子ども・家族・外国人の人権保障と国際人流　第1部 アメリカにおける憲法と国際人権の諸相（外国人排斥法の史的展開とその背景　連邦議会の絶対的権限（Plenary Power）と国家主権の法理 ほか）第2部 日本における憲法と国際人権の諸相（国民と外国人—国籍の現代的機能とその背景について　無国籍出生児の日本国籍取得と国際人権条約 ほか）第3部 憲法と国際人権保障の開拓線（フロンティア）（外国人と国際家族の人権　近代立憲主義における「公/私」モデルの変容と社会領域の三分法モデル ほか）グローバル時代の課題と今後の展望

◇人権と国家—理念の力と国際政治の現実　筒井清輝著　岩波書店　2022.2　230,6p　18cm（岩波新書）　860円　Ⓘ978-4-00-431912-2

内容 第1章 普遍的人権のルーツ（18世紀から20世紀半ばまで）—普遍性原理の発展史 Q 人権理念や制度はいつ生まれたものなのか？（他者への共感と人権運動の広がり　二つの世界大戦と普遍的人権の理念）第2章 国家の計算違い（1940年代から1980年代まで）—内政干渉肯定の原理の確立 Q なぜ国家は自らの権力を制約する人権システムの発展を許したのか？（国際政治のパラドックス　冷戦下の新しい人権運動）第3章 国際人権の実効性（1990年代以降）—理念と現実の距離 Q 国際人権システムは世界中での人権の実践の向上にどの程度貢献したのか？（冷戦崩壊後の期待と現実　21世紀の国際人権 ほか）第4章 国際人権と日本の歩み—人権運動と人権外交 Q 日本は国際人権とどのように関わり合ってきたのか？（日本国内の人権運動の歩み　同化から覚醒へ ほか）

◇新国際人権入門—SDGs時代における展開　横田洋三編，富田麻理，滝澤美佐子，望月康恵，吉村祥子著　京都　法律文化社　2021.11　255p　21cm　2700円　Ⓘ978-4-589-04179-1

内容 国際人権の意味と意義　人権保護促進のための国際的取組み　国際人権章典　人身の自由と拷問等の禁止　人種差別の禁止と少数者・先住民族の権利　ジェンダー平等と女性の権利　子どもの権利　難民・国内避難民および移民の権利　障がい者・病者の権利　経済活動と国際人権　国際人道法と国際人権　平和と人権　国際人権と私たちの課題

◇地図とデータで見る人権の世界ハンドブック　カトリーヌ・ヴィトール・ド・ヴァンダン編，アレクサンドル・ニコラ地図製作，土居佳代子訳　原書房　2021.11　166p　21cm　2800円　Ⓘ978-4-562-05934-8

内容 人権の歴史（人権の基礎となっている文書と偉人たち　古代の奴隷制と原住民法 ほか）個人と集団の権利の前進と尊重（社会権と労働者の団結権　結社の自由 ほか）新しい権利の獲得（マイノリティーの権利　文化権 ほか）権利の危機、危機における権利（居住の権利　デジタル時代の自由権の保護 ほか）権利擁護機関（フランス）付録

◇新・21世紀の人権—知っているようで知らない差別と人権の話　江原由美子監修，神奈川人権センター編　横浜　神奈川人権センター，日本評論社〔発売〕　2021.8　255p　26cm　2300円　Ⓘ978-4-535-52597-9

内容 21世紀の人権　被差別部落と人権　アイヌ民族と人権　沖縄の人々と人権　外国につながる人々と人権　障害者と人権　男女平等と人権　性的少数者と人権　子どもと人権　高齢者と人権　疾病・患者と人権　平和と人権　労働と人権　環境と人権　表現の自由と人権　企業と人権　地方自治と人権

◇国際人権入門—現場から考える　申惠丰著　岩波書店　2020.8　173p　18cm（岩波新書）　800円　Ⓘ978-4-00-431845-3

内容 序章 国際人権基準とそのシステム（国際的な人権保障の出発点は国連憲章　世界人権宣言 ほか）第1章 「不法滞在の外国人」には人権はないのか—入管収容施設の外国人（退去強制手続と収容　入管収容施設内での処遇 ほか）第2章 人権差別・ヘイトスピーチ—差別を「禁止」する法の役割（社会生活における人権差別を禁止する法律がない日本　民法の「不法行為」の規定をあてはめて解釈する迂遠な方法 ほか）第3章 女性差別の撤廃と性暴力（セクハラは「性（ジェンダー）暴力」であり、「女性差別」諸外国の立法 ほか）第4章 学ぶ権利実現のため措置を取る国の義務—社会権規約の観点から（上がり続ける大学の学費と私費負担　社会権規約が要求している措置 ほか）

◇国際人権　No.30　国際人権法学会　2019.10　176p　26cm　3800円　Ⓘ978-4-7972-2830-4，ISSN0916-7188

内容 学会創立30周年記念特別企画　特別講演（台湾の人権実施法—国内受容の良いモデルか？　平和への権利と韓国の憲法裁判）特集1 国際人権と民主主義　特集2 最近の国際人権判例研究　国際・国内人権機関の現在　公募論文 自由権規約における子どもの国籍取得権と国家の義務—自由権規約第2条の観点から　インタレストグループ報告　判例紹介　書評　資料

◇移民棄民遺民—国と国の境界線に立つ人々　安田峰俊［著］KADOKAWA　2019.4　317p　15cm（角川文庫　や58-2）〈書誌注記：文献あり　一般注記：「境界の民」（2015年刊）の改題、加筆修正〉840円　Ⓘ978-4-04-107068-0　Ⓝ316.8

内容 第1章 クラスメイトは難民—日本のなかのベトナム　第2章 偽りのシルクロード（上）—迷走するウイグル　第3章 偽りのシルクロード（下）—道具としてのウイグル　第4章 ガラパゴスのコスモポリタン—引き裂かれる上海　第5章 黒いワイルド・スワン—軍閥、文革、歌舞伎町　第6章 甘すぎる毒の島—幻想としての台湾

◇国際人権　No.29 2018年報　国際人権法学会，信山社出版〔発売〕　2018.10　130p　26cm　3200円　Ⓘ978-4-7972-2829-8，ISSN0916-7188

内容 論説　特集1 沖縄/琉球と人権　特集2 戦後裁判と沖縄にかかわる最新判例研究　国際・国内人権機関の現在　公募論文　インタレストグループ報告　判例紹介　書評　資料

◇人権への視座—フランスにおける「人権と政治」論争と日本の行方　佐々木允臣著　京都　文理閣　2016.5　182p　19cm　2500円　Ⓘ978-4-89259-788-6

内容 第1部 分岐点としての「人権と政治」—「分割」と「統合」（「歴史の終わり」とリベラル・デモクラシー　「二重底」のネオ・リベラリズム—「人権は政治ではない」　「統合」のラディカル・デモクラシー—「人権の政治」　「自律」のデモクラシー—「人権と政治」）インターメッツオ（個人主義の昂進と人権—われわれはどこに向かうのか？（第一部での議論の前提）人権と国家の両義的関係—近代政治哲学のパラドックス（第二部での問題の所在））第2部 人権の十字路—「分割」か「統合」か（リベラルな人権論（リベラル・デモクラシー）における二つの系譜　ラディカルな人権論（ラディカル・デモクラシー）の統合原理　日本の分岐点）エピローグ ラディカルな人権論と統制的理念　補論 日本における人権意識の特徴—自律的社会と雑種文化との距離

◇国際人権保障と平和/戦争—多元的な社会のダイナミズム　阿部浩己［述］，神奈川人権センター編　横浜　神奈川人権センター　2016.4　89p　21cm（人権ブックレット no. 13）800円　Ⓝ329.21

◇ヒューマンライツ—人権をめぐる旅へ　香山リカ，マーク・ウィンチェスター，青木陽子，小林健治，加藤直樹，永野三智，渡辺雅之，土井香苗著　ころから　2015.12　150p　19cm　1500円　Ⓘ978-4-907239-16-9

内容 アイヌ民族否定問題×マーク・ウィンチェスター　マイノリティと反ヘイト×青木陽子　部落解放からの反差別×小林健治　ジェノサイドの残響×加藤直樹　水俣病患者支援×永野三智　いじめとレイシズム×渡辺雅之　世界の人権状況×土井香苗　「人権をめぐる旅」のブック&サイトガイド

◇武力紛争における国際人権法と国際人道法の交錯　髙嶋陽子著　専修大学出版局　2015.2　292p　22cm〈書誌注記：文献あり　索引あり〉3200円　Ⓘ978-4-88125-294-9　Ⓝ329.21

内容 第1部 国際人権法と国際人道法の交錯の理論状況（伝統的議論枠組　「交錯」の法的根拠）第2部 国際人権法と国際人道法の適用範囲（武力紛争における国際人権法の適用範囲　武力紛争における国際人道法の適用範囲）第3部 裁判所による紛争処理過程における交錯（占領における国際人権法と国際人道法　内戦・非国際的武力紛争における交錯）

◇国際人権　25（2014年報）国際人権法学会編　国際人権法学会，信山社〔発売〕　2014.10　160p　26×19cm　3200円　Ⓘ978-4-7972-2694-2，ISSN0916-7188

内容 特別寄稿（国際裁判所と国内裁判所との対話—ヨーロッパ人権裁判所の場合　グローバル社会の中の日本の最高裁判所とその課題—裁判官の国際的対話）論説（国際人権法における「補完性原則」の意義—序論的考察　「人権」と法のヒエラルヒー）特集1 グローバル・プロセスとしての国際人権法—国際裁判所と国内裁判所の「対話」を契機として　特集2 国際人権判例分析　国際人権機関・国内人権機関報告　公募論文 人種差別撤廃委員会による実効的な国際的実施制度の模索—人種差別撤廃条約の下の早期警報・緊急行動手続をめぐって　インタレストグループ報告　判例紹介　書評　資料

◇グローバル社会と人権問題—人権保障と共生社会の構築に向けて　李修京編　明石書店　2014.9　278p　21cm　2400円　Ⓘ978-4-7503-4080-7

内容 第1章 国境を越える世界規模の人権問題（東アジアでの人権協力　レイシズム—人間の奥底に潜む黒い欲望 ほか）第2章 明日を担う子ど

【あ】

愛を知ったのは処刑に駆り立てられる日々の後だった（舟越美夏著）…… 20, 101
空いた椅子に刻んだ約束（キムソギョン，キムウンソン著，岡本有佳訳）…… 313
アイデンティティ …… 198, 364
「IRIS」でわかる朝鮮半島の危機（李泳采，朝日新聞出版書籍編集部著）…… 209
アウトロー・オーシャン　上（イアン・アービナ著，黒木章人訳）…… 128
アウトロー・オーシャン　下（イアン・アービナ著，黒木章人訳）…… 128
アウンサンスーチー（根本敬，田辺寿夫著）…… 42
「アウンサンスーチー政権」のミャンマー（永井浩，田辺寿夫，根本敬編著）…… 41
アウンサンスーチーのビルマ（根本敬著）…… 41
アキラの地雷博物館とこどもたち（アキ・ラー編著）…… 111
悪の連結（ウィリアム・C.トリブレット2著，福井義高訳）…… 121
あごら（あごら新宿編）…… 343
朝日「慰安婦」報道は何が問題なのか …… 318
朝日新聞世紀の大誤報（池田信夫著）…… 317
朝日新聞「日本人への大罪」（西岡力著）…… 317
朝日新聞の慰安婦報道と裁判（北野隆一著）…… 314
朝日新聞元ソウル特派員が見た「慰安婦虚報」の真実（前川惠司著）…… 318
アジア・アフリカの武力紛争（武内進一編）…… 31, 96
「アジア解放」の美名のもとにインドネシア・日本軍占領下での性暴力（アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」編）…… 275
アジアが見たイラク戦争（松井和久，中川雅彦編著）…… 69
アジア女性基金と慰安婦問題（和田春樹著）…… 275
アジア太平洋における海洋秩序の維持（防衛省防衛研究所編）…… 128
アジア・太平洋のロシア（加藤美保子著）…… 194, 220, 241
アジアにおける人権と平和（日本平和学会編）…… 196
アジア「年金老人」買春ツアー（羽田令子著）…… 220, 375
アジアの安全保障　2001 - 2002（平和・安全保障研究所編著）…… 198
アジアの安全保障　2002 - 2003（平和・安全保障研究所編）…… 198
アジアの安全保障　2003 - 2004（平和・安全保障研究所編著）…… 198
アジアの安全保障　2004 - 2005（平和・安全保障研究所編）…… 197
アジアの安全保障　2005 - 2006（平和・安全保障研究所編）…… 197
アジアの安全保障　2006 - 2007（平和・安全保障研究所編）…… 196
アジアの安全保障　2007 - 2008（平和・安全保障研究所編著）…… 196
アジアの安全保障　2008 - 2009（平和・安全保障研究所編）…… 196
アジアの安全保障　2009 - 2010（平和・安全保障研究所編）…… 196
アジアの安全保障　2010 - 2011（平和・安全保障研究所編）…… 195
アジアの安全保障　2011 - 2012（平和・安全保障研究所編）…… 195
アジアの安全保障（西原正監修，平和・安全保障研究所編）…… 195
アジアの試練 チベット解放は成るか（櫻井よしこ編）…… 38
アジアの人権と平和　普及版（稲正樹著）…… 197
アジアの人権と平和（稲正樹著）…… 197
アジアの花たちへ（吉川春子著）…… 281
アジアの平和と核（広島市立大学広島平和研究所編）…… 113
アジアの平和とガバナンス（広島市立大学広島平和研究所編）…… 111, 193
アジアの平和のために日本人が知っておくべきこと（竹中豊晴著）…… 284
アジアは同時テロ・戦争をどう見たか（重冨真一，中川雅彦，松井和久編）…… 168
アシュリーの戦争（ゲイル・スマク・レモン著，新田享子訳）…… 102
アソシエ　第15号（『アソシエ』編集委員会編）…… 26
頭を冷やすための靖国論（三土修平著）…… 272
新しい戦争？（中山元著）…… 168
「新しい戦争」を知るための60のQ&A（森本敏，宮田律，立山良司著）…… 159
新しい米欧関係と日本 …… 230, 239
アッラーの花嫁たち（ユリア・ユージッ

【あ】

アウンサンスーチー　→ミャンマー問題 …… 40
アジア
　→アジア（各国の紛争・内戦）…… 30
　→アジア（各国の問題）…… 193
　→アジア（日本と各国）…… 283
アフガニスタン　→タリバン …… 180
アフガニスタン紛争
　→アフガニスタン紛争 …… 73
　→紛争後 …… 78
　→アメリカ同時多発テロ …… 160
アフリカ
　→アフリカ（各国の紛争・内戦）…… 92
　→アフリカ（各国の問題）…… 258
　→アフリカ（日本と各国）…… 351
アメリカ
　→アメリカ（各国の紛争・内戦）…… 45
　→核兵器・核問題 …… 111
　→アメリカ同時多発テロ …… 160
　→アメリカ（各国の問題）…… 221
　→アメリカ（日本と各国）…… 338
　→沖縄・基地問題 …… 341
　→ブラック・ライブズ・マター …… 359
アメリカ同時多発テロ
　→アメリカ同時多発テロ …… 160
　→体験談・記録（アメリカ同時多発テロ）…… 169
アラブ革命　→アラブの春（中東・アフリカ）…… 98
アラブの春　→アラブの春（中東・アフリカ）…… 98
アラブ紛争
　→パレスチナ問題（イスラエル・アラブ紛争）…… 81
　→ガザ侵攻 …… 89
アルカイダ
　→アメリカ同時多発テロ …… 160
　→アルカイダ …… 177

【い】

慰安婦問題
　→慰安婦問題（日本と各国）…… 273
　→アジア（日本と各国）…… 283
　→慰安婦問題（朝鮮半島）…… 313
イスラエル・アラブ紛争
　→パレスチナ問題（イスラエル・アラブ紛争）…… 81
　→ガザ侵攻 …… 89
イスラム　→中東・イスラム圏（各国の紛争・内戦）…… 53
イスラム過激派
　→過激派組織 …… 173
　→ISIL（イスラム国）…… 181
イスラム圏　→中東・イスラム圏（各国の問題）…… 245
イスラム国
　→シリア内戦 …… 90
　→人質・誘拐事件 …… 172
　→ISIL（イスラム国）…… 181
移民
　→アジア（日本と各国）…… 283
　→移民・難民 …… 375
　→移民 …… 379
イラク　→イラク（各国の問題）…… 256
イラク危機　→イラク戦争 …… 57
イラク戦争
　→イラク戦争 …… 57
　→自衛隊派遣 …… 70
　→サダム・フセイン …… 72
　→ファルージャの戦闘 …… 73
　→劣化ウラン弾 …… 122
イラン
　→アメリカ（各国の紛争・内戦）…… 45
　→核兵器・核問題 …… 111
　→イラン（各国の問題）…… 255
インド・パキスタン関係　→インド・パキスタン関係 …… 44
インド
　→インド（各国の紛争・内戦）…… 44
　→インド・パキスタン関係 …… 44

【う】

ウイグル自治区　→新疆ウイグル自治区問題 …… 32
魚釣島
　→領土問題（日本と各国）…… 264
　→尖閣諸島問題 …… 297
ウクライナ
　→ロシア・ウクライナ戦争 …… 48

21世紀の国際問題3000冊
—紛争・民族・人権

2022年7月25日　第1刷発行

発 行 者／山下浩
編集・発行／日外アソシエーツ株式会社
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス
電話 (03)3763-5241（代表） FAX(03)3764-0845
URL https://www.nichigai.co.jp/

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社
印刷・製本／株式会社平河工業社

© Nichigai Associates, Inc. 2022
不許複製・禁無断転載
<落丁乱丁本はお取り替えいたします>　《中性紙北越淡クリームキンマリ使用》

ISBN978-4-8169-2931-1　*Printed in Japan,2022*

本書はディジタルデータでご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。